

事業計画書（提案の概要）

募集施設の名称	長浜鉄道スクエア
---------	----------

申請者	所在地	滋賀県長浜市北船町3-24 えきまちテラス長浜
	団体名	公益社団法人長浜観光協会
	代表者氏名	会長 岸本 一郎

指定管理料提案額	令和5年度	2,650,000円
	令和6年度	2,650,000円
	令和7年度	2,650,000円
	令和8年度	2,650,000円
	令和9年度	2,650,000円

1 管理運営についての基本方針等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 施設の管理運営についての基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・長浜鉄道スクエアは「鉄道のまち・長浜」を象徴する歴史文化資源であり、後世に保存伝承し、磨きをかけて観光客に供することは、長浜の観光事業として重要と考えております。 ・39年にわたる委託事業者および指定管理者としての経験を活かし、適切な管理運営と魅力的な企画展の開催や長浜市内の観光施設や長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会、全国の鉄道博物館との連携を図り、「観光都市・長浜」の実現に向けて管理運営にあたってまいります。
(2) 指定管理者を希望する理由・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・長浜鉄道スクエアの管理運営については、委託期間を合わせると39年間の実績があり、これらの長年の経験と知識は、今後の運営において、活用できると自負しています。 ・歴史的な関係性をもつ長浜鉄道スクエアと慶雲館の2施設をともに管理運営することで、共同企画展の開催や連携をとった運営方法などを行うことができ、観光資源の有効活用を見込むことができると考えております。
(3) 施設の課題とその対応	<ul style="list-style-type: none"> ・例年入館者5万人前後を推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり大きく来館者が減少しています。 ・今後の旅行スタイルは、団体から個人へ移行し、また近場を選ぶマイクロツーリズムや、質の高い観光が求められます。ファミリー層や鉄道ファンの誘致を目的に子ども・マニア向けの展示や、公式SNSを通じての集客などファミリー層・鉄道ファンを中心に誘客を図ります。

2 組織体制・職員配置等【審査基準：条例第4条第4号】

(1) 管理運営の組織体制	
(2) 管理運営に係る職員配置及び今後の採用計画	事業計画書のとおり
(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理人が、H〇ゲージの鉄道模型の修理をある程度できるよう、専門家による指導を行います。 ・長浜鉄道スクエアでの企画展や催事などへの導入や改善、さらには展示品の貸借などにつなげることを目的に、他の鉄道資料館の展示やイベントについて、現地視察研修を行います。 ・日本鉄道保存協会や日本博物館協会などの関連団体会員との交流の場に積極的に参加し、職員の知識や関係性の向上につなげます。

3 利用促進等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 施設の利用促進に向けた具体的な取組（施設の特徴を活かした自主事業の展開を含む。）及び達成目標	<p>■企画展について</p> <p>年間を通じて、テーマを設けた企画展示を行うとともに、日本遺産「海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄路のキセキ～」のストーリーを活かした展示を行います。</p> <p>夏休み期間中は子ども向けの企画展示、春季・秋季は、鉄道ファンや一般観光客に向けた企画展、冬季は隣接する慶雲館で開催される長浜盆梅展の来場者向けの企画展を行います。</p> <p>■鉄道イベントの開催について</p> <p>10月14日の鉄道の日に合わせて家族連れや鉄道ファン、地元の方々などにお越しいただけるようなイベントを企画します。</p> <p>■鉄道写真コンテストの開催について</p> <p>長浜鉄道スクエアの情報発信と素材収集などを目的に毎年鉄道写真の募集を行い、コンテストを開催します。入賞作品は鉄道スクエアにて展示を行い、誘客に努めます。</p> <p>■インバウンドについて</p> <p>弊会が育成した地域通訳案内士を活用してインバウンドの誘致に努めます。</p> <p>また、文化庁の補助金を活用し、市と連携して多言語での案内を行います。</p> <p>■旧長浜駅舎2階の利用について</p> <p>現在、旧長浜駅舎2階は一般公開をしていませんが、鉄道イベントに合わせてそのスペースを利用し、模型走行やワークショップなどのイベント企画を行います。</p>
--	--

	<p>■市民との交流について</p> <p>市民の方が鉄道スクエアを知り、触れ合う機会を作るため、毎日正午のD51型蒸気機関車の汽笛吹鳴や北陸線電化記念館北扉の開放を行います。また参加型の鉄道車輛の清掃イベントの実施や絵画作品の展示、11月3日の関西文化の日に合わせて無料開放を行うなど市民の方に長浜が鉄道のまちであることを知ってもらう機会を作る計画を立てます。</p> <p>■オリジナルグッズの販売について</p> <p>旧長浜駅舎やED70などをモチーフにしたTシャツやトートバッグなど長浜鉄道スクエアのオリジナルグッズを製作販売します。また、鉄印など鉄道ファン向けのグッズも制作し、顧客満足につなげます。</p> <p>■ツアーの企画について</p> <p>弊会が有している旅行業を活用し、長浜鉄道スクエアを含む鉄道遺産巡りのツアーを企画・催行します。</p>
(2) 地域・関係機関・ボランティア等との連携についての考え方や方策	<ul style="list-style-type: none"> ・長浜浪漫パスポートに引き続き参画するなど、市内観光施設との連携を図ります。 ・長浜鉄道スクエアは、文化観光推進法に基づく長浜市地域計画の中で湖国フィールドミュージアム・長浜地域計画の中核文化観光拠点施設として位置付けられており、また長浜観光協会は文化観光推進事業者でもあります。湖国フィールドミュージアムを通じて市内の文化観光施設と情報共有を図ります。 ・長浜市や長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会との連携を図り、企画展示等の関連イベントに参画するなど広域観光事業の開発を検討します。 ・日本鉄道保存協会や日本博物館協会など、鉄道関連の団体や博物館と連携をとって情報共有を図ります。
(3) 施設のPRや情報提供など広報活動についての効果的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページとFacebookをさらに活用し、より多くの情報発信に努めます。さらに、インスタグラムなどのSNSを利用して、若い世代への情報伝達を図ります。 ・企画展のリーフレット等を作成し、観光施設や宿泊施設、観光案内所に設置を依頼します。 ・長浜市やびわこビジターズビューローなどと連携し、県内外での観光PRの場で広報活動を行います。 ・テレビや雑誌などメディアへの積極的な取材提案を行います。

4 サービス向上等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 利用者等からのニーズの把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルアンケートやアンケート用紙を設置し、お客様からのニーズを把握します。 ・管理人や受付案内の職員はお客様の声を聞くように努め、施設の感想を入手するだけでなく、顧客層や動向の把握に務めます。
(2) 利用者等からの苦情等に対する対応	<p>アンケート結果は日々確認をし、苦情や要望があれば、管理人が早急に対応し、内容に応じて事務局へ連絡・対応します。予算や工事の問題などですぐに対応できないものについては、代替案や計画を練って、今後の対策を検討します。お客様のお名前をお聞きしている場合には、必要に応じて、個別対応を行います。</p>
(3) その他サービスの質を維持・向上するための取組	<p>他の博物館など同種施設の展示状況、接客状況等の研究を行い、展示やおもてなしの向上に努めます。</p>

5 施設の管理運営等【審査基準：条例第4条第3号及び第4号】

(1) 施設の管理運営における経費節減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・照明をLED電球に順次交換して、光熱水費を節約します。 ・消耗品等の購入は、今後必要と思われる数量をまとめ買いすることにより、単価を低く抑えます。 																		
(2) 利用料金の設定及び設定根拠	<table border="1" data-bbox="529 1025 1359 1258"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>入館料</th> <th>利用料金(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">個人</td> <td>一般</td> <td>300円</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>児童・生徒</td> <td>150円</td> <td>150円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">団体(20人以上)</td> <td>一般</td> <td>240円</td> <td>240円</td> </tr> <tr> <td>児童・生徒</td> <td>120円</td> <td>120円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(利用料金の設定根拠) 長浜市「長浜鉄道スクエア条例」に基づく料金設定です。</p>	区分		入館料	利用料金(案)	個人	一般	300円	300円	児童・生徒	150円	150円	団体(20人以上)	一般	240円	240円	児童・生徒	120円	120円
区分		入館料	利用料金(案)																
個人	一般	300円	300円																
	児童・生徒	150円	150円																
団体(20人以上)	一般	240円	240円																
	児童・生徒	120円	120円																
(3) 維持管理業務(清掃・保守点検・警備等)の内容、方法、頻度、今後の修繕計画等	<p>■新型コロナウイルス感染症対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の検温、手指消毒、マスク着用を徹底します。 ・来館者向けには、入口に自動検温器と消毒液を設置します。 <p>■清掃について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内と前庭の清掃を毎日、受付事務員と管理人が行います。 ・営業時間中は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定期的に館内の消毒作業を実施します。 <p>■保守点検について</p> <p>設備に関する保守点検を毎日管理人が行います。不備や故障などが見つかった場合は、事務局へ連絡し、必要な対応を行います。</p> <p>■警備について</p> <p>警備保障会社と契約し、年間を通じて警備を行います。</p>																		

6 その他【審査基準：条例第4条第4号】

<p>(1) 利用者の個人情報 を保護するための取 組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置するアンケート用紙には個人情報保護に関する明記を行います。 ・個人情報が記入された用紙は鍵のかかる棚に保管するなど、取扱いに注意します。これらの業務について、職員への教育を徹底します。
<p>(2) 施設の管理運営に おける環境に配慮し た取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・照明をLED電球に順次交換し、二酸化炭素の排出を削減します。
<p>(3) 防災、防犯その他 緊急時（災害・事故 等）の対応及び危機 管理体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全確認を定期的実施し、日々施設内外の管理点検を行います。 ・夜間や休館時は警備会社に委託し、緊急時に備えます。 ・災害、事故等発生時の対応として、毎年防災訓練を実施します。避難経路を熟知し、万が一の場合には、スムーズな対応ができるよう指導を徹底します。 <p>開館時 担当職員→①警察・消防など関係機関へ連絡 ②事務局(専務理事・事務局長)へ連絡→会長及び役員へ連絡 ③関係職員へ連絡</p> <p>閉館時 委託先警備会社 →担当職員→①警察・消防など関係機関へ連絡 →②観光協会(専務理事・事務局長)へ連絡→会長及び役員へ連絡 →③関係職員へ連絡</p>
<p>(4) 同様・類似の業務 の実績等</p>	<p>長浜鉄道スクエア 昭和58年4月～平成22年3月 27年間 長浜市からの業務委託</p> <p>平成22年4月～平成25年3月 3年間 長浜市からの指定管理業務</p> <p>平成25年4月～平成30年3月 5年間 長浜市からの指定管理業務</p> <p>平成30年4月～令和 5年3月 5年間 長浜市からの指定管理業務</p> <p>慶雲館 平成16年4月～平成20年3月 4年間 長浜市からの業務委託</p> <p>平成26年4月～平成29年3月 3年間 長浜市からの指定管理業務</p>

	平成29年4月～令和4年3月 5年間 長浜市からの指定管理業務
	令和4年4月～令和9年3月 5年間 長浜市からの指定管理業務

7 自由提案【審査基準：条例第4条第2号及び第5号】

<p>その他施設の管理運営業務を効果的・効率的に推進していくために提案したいこと、貴団体の独自性やアピールしたいこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長浜鉄道スクエアが有する近代化遺産の保存、活用に努めます。 ・旧長浜駅舎2階を活用し、慶雲館と一体的な運用で、MICEの受け入れ施設として、ユニークベニユアの展開に心がけます。 ・鉄道愛好家の方々の活動や交流の場として提供することを検討します。鉄道ファンに活用してもらうことで、新しい魅力の創造と発信、新しい利用方法の開発を行い、来館者増につなげます。 ・旧長浜駅舎は、現存する日本最古の駅舎で、鉄道記念物の第1号に選ばれたほか滋賀県の指定文化財に登録されています。また、旧長浜駅29号分岐器ポイント部など数多くの文化財、鉄道遺産を有しています。長浜市とともにこれらの歴史文化財的価値をより高めるため、国の重要文化財に登録されるよう働きかけを行います。 ・長浜鉄道スクエアでは、数多くの所蔵品を有しており、これらの所蔵品を展示や他の施設への貸し出しなどに活用できるよう、保管整理を行います。 ・弊会は旅行業を有しているので、長浜鉄道スクエアを含む鉄道遺産巡りのツアーを企画・催行します。
--	---

事業計画書

1 管理運営についての基本方針等

(1) 施設の管理運営についての基本方針を提示してください。

現存する日本最古の長浜駅舎を有している長浜市は、「長浜博物館都市構想」に基づき、平成12年に長浜鉄道文化館を、平成15年に北陸線電化文化館を整備し、「長浜鉄道スクエア」が誕生して、まさに鉄道のまち・長浜としての象徴となりました。

令和2年には旧長浜駅舎などが日本遺産に認定され、この歴史的な文化遺産を後世に保存伝承し、磨きをかけて観光客に供すことは、長浜の観光事業として重要であり、大変意義のあることだと考えています。

公益社団法人長浜観光協会は、これまでの39年にわたる委託事業者および指定管理者としての経験を活かし、この歴史的な文化遺産を紹介する観光施設「長浜鉄道スクエア」を、国内はもとより、海外に向けても発信し、より多くの人にお越しいただくよう、常設展示の適切な管理運営と魅力的な企画展を開催するとともに、長浜市内の観光施設や長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会、全国の鉄道博物館との連携を図り、「観光都市・長浜」の実現に向けて管理運営にあたってまいります。

(2) 指定管理者を希望する理由・目的を提示してください。

公益社団法人長浜観光協会は、これまで行政や民間と連携をとりつつ、長浜の観光事業を担ってまいりました。また、長浜鉄道スクエアの管理運営については、委託期間を合わせると39年間の実績があります。この長年の経験と知識は、今後の運営において、活用できると自負しています。この長浜の貴重な文化遺産を魅力ある観光資源として、国内のみならず海外からも一人でも多くのお客様にお越しいただくことを目的とし、時代に合った、情報提供や展示企画などを計画していきます。

また、長浜鉄道スクエアの向かいにある慶雲館は、令和4年度から5年間の管理を受託しており、その建設に関する歴史や意図において、旧長浜駅舎との関係性は切れないものです。これら2施設をともに管理運営することで、共同企画展の開催や連携をとった運営方法などを行うことができ、観光資源の有効活用ができると考えております。

(3) 施設の課題とその対応について提示してください。

例年入館者5万人前後を推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり大きく来館者が減少しています。

今後の旅行スタイルは、団体から個人へ移行し、また近場を選ぶマイクロツーリズムや、質の高い観光が求められます。ファミリー層や鉄道ファンの誘致を目的に子ども・マニア向けの展示や、公式SNSを通じての集客などファミリー層・鉄道ファンを中心に誘客を図ります。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

2 組織体制・職員配置等

(1) 管理運営の組織体制を提示してください。

企画展の検討や展示方法、展示品の借用に関する助言等の業務担当として、元日本ナショナルトラスト事務局長で、現日本鉄道保存協会事務局長に名誉館長を委嘱します。

企画展の助言、展示の設営や所蔵資料の保管整理の業務担当として、元交通科学博物館学芸員と元長浜市学芸員を非正規雇用します。

お客様への館内説明員と入館料徴収員を常時配置し、その他、必要に応じて、適切な人員を配置することで人件費削減を図ります。

(2) 管理運営に係る職員配置を提示してください。

役職	担当業務内容	資格・能力等	雇用形態	勤務形態
名誉館長	展示運営に関する助言と指導	鉄道保存協会事務局長	非正規	1回/月
学芸員	所蔵品管理および展示指導	元交通科学博物館学芸員	非正規	1回/月
学芸員	所蔵品管理および展示指導	元長浜市学芸員	非正規	4回/月
館長	管理運営および経営の総括	専務理事	正規	随時
副館長	管理運営の事務的責任者補助	慶雲館館長	正規	随時
事務局次長	管理運営の事務的担当者	甲種防火管理者	正規	4時間/週
主事	管理運営		正規	4時間/週
事務員	経理および庶務		正規	4時間/週
受付事務員 (3名)	入館受付、清掃など		非正規	16時間/週
管理人 (5名)	展示説明、清掃など		非正規	26時間/週

(職員の採用計画)

施設管理などの職員は、年齢制限を設けていることから、退職などによる欠員が出る場合には、必要に応じて雇用します。

(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等を提示してください。

管理人が、HOゲージの鉄道模型の修理をある程度できるよう、専門家による指導を行います。

長浜鉄道スクエアでの企画展や催事などへの導入や改善、さらには展示品の貸借などにつなげることを目的に、他の鉄道資料館の展示やイベントについて、現地視察研修を行います。また日本鉄道保存協会や日本博物館協会などの関連団体会員との交流の場に積極的に参加し、職員の知識や関係性の向上につなげます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙(A4版)を作成してください。

3 利用促進等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 施設の利用促進に向けた具体的な取組（施設の特徴を活かした自主事業の展開を含む。）及び達成目標を提示してください。

■企画展について

年間を通じて、テーマを設けた企画展示を行うとともに、日本遺産「海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄道のキセキ～」のストーリーを活かした展示を行います。

また、夏休み期間中は子ども向けの企画展示、春季・秋季は鉄道ファンや一般観光客、冬季は慶雲館で開催される長浜盆梅展の来場者に向けた企画展を行います。



鉄道写真家 清水薫 追悼写真展

長浜鉄道スクエア
2022年4月8日(土) ▶ 6月30日(日)
9:30～17:00 (入場は16:30まで)
長浜鉄道スクエア 長浜駅南口徒歩3分
JR長浜駅南口から徒歩3分
大人300円、小学生150円

■鉄道イベントの開催について

10月14日の鉄道の日に合わせて家族連れや鉄道ファン、地元の方々などにお越しいただけるようなイベントを企画します。



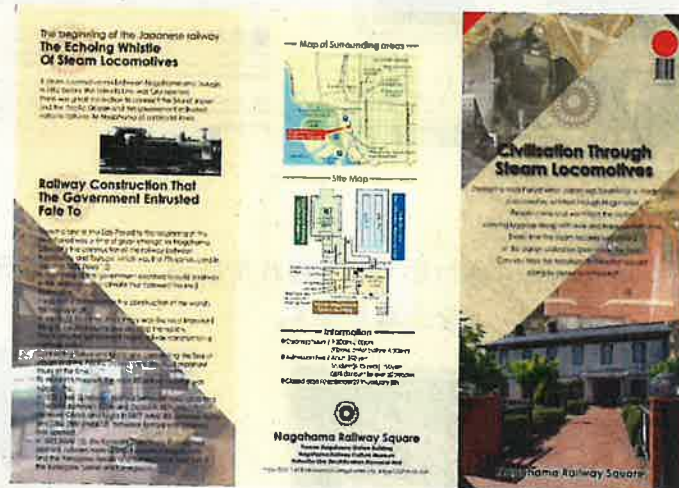
■鉄道写真コンテストの開催について

長浜鉄道スクエアの情報発信と素材収集などを目的に毎年鉄道写真の募集を行い、コンテストを開催します。入賞作品は鉄道スクエアにて展示を行い、誘客に努めます。



■インバウンドについて

昨年、長浜市が認定した地域通訳案内士を活用してインバウンドの誘致に努めます。また、文化庁の補助金を活用し、市と連携して多言語での案内を行います。



■旧長浜駅舎2階の利用について

現在、旧長浜駅舎2階は一般公開をしていませんが、鉄道イベントに合わせてそのスペースを利用し、模型走行やワークショップなどのイベント企画を行います。



■市民との交流について

市民の方が鉄道スクエアを知り、触れ合う機会を作るため、毎日正午のD51型蒸気機関車の汽笛吹鳴や北陸線電化記念館北扉の開放を行います。また参加型の鉄道車輛の清掃イベントの実施や絵画作品の展示、11月3日の関西文化の日に合わせて無料開放を行うなど、市民の方に長浜が鉄道のまちであることを知ってもらう機会を作る計画を立てます。



■オリジナルグッズの販売について

旧長浜駅舎やED70などをモチーフにしたTシャツやトートバッグなど長浜鉄道スクエアのオリジナルグッズを製作販売します。また、鉄印など鉄道ファン向けのグッズも制作し、顧客満足につなげます。



■ツアーの企画について

、弊会が有している旅行業を活用し、長浜鉄道スクエアを含む鉄道遺産巡りのツアーを企画・催行します。



【達成目標】

年度	利用者数	積算根拠
令和5年度	47,000人	過去の入館者数と今後の利用促進計画から算出。
令和6年度	49,000人	
令和7年度	51,000人	
令和8年度	53,000人	
令和9年度	55,000人	

(2) 地域・関係機関・ボランティア等との連携についての考え方や方策を提示してください。

■長浜浪漫パスポートの参画について

長浜浪漫パスポートに引き続き参画するなど、市内観光施設との連携を図ります。

■湖国フィールドミュージアムについて

長浜鉄道スクエアは、文化観光推進法に基づく長浜市地域計画の中で湖国フィールドミュージアム・長浜地域計画の中核文化観光拠点施設として位置付けられており、また長浜観光協会は文化観光推進事業者でもあります。湖国フィールドミュージアムを通じて市内の文化観光施設と情報共有を図ります。

※文化観光推進事業者：長浜市、長浜観光協会、長浜市曳山文化協会、
長浜ビジネスサポート協議会

■広域エリアとの連携について

長浜市・敦賀市・南越前町観光連携協議会との連携を図り、地域活性化につなげます。

旧長浜駅舎や旧北陸線の鉄道トンネル群の石額などの鉄道遺産を多く保有する長浜鉄道スクエアは、北陸と長浜を結ぶモデルコースからは外せない重要なポイントであるため、企画展示等の関連イベントに参画し、広域観光事業の開発を検討します。

■鉄道関連団体との連携について

日本鉄道保存協会や日本博物館協会など、鉄道関連の団体や博物館と連携をとって情報共有を図ります。

(3) 施設のPRや情報提供など広報活動についての効果的な取組を提示してください。

- ・既存の長浜鉄道スクエアのホームページとFacebookをさらに活用し、より多くの情報発信に努めます。さらに、インスタグラムなどのSNSを利用して、若い世代への情報伝達を図ります。
- ・特別企画展やイベント等を開催する際には、企画展のリーフレット等を作成し、観光施設や宿泊施設、観光案内所に設置を依頼します。
- ・長浜市やびわこビジターズビューローなどと連携し、県内外での観光PRの場で広報活動を行います。
- ・テレビや雑誌などメディアへの積極的な取材提案を行います。



欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

4 サービス向上等

(1) 利用者などからのニーズの把握方法を提示してください。

デジタルアンケートやアンケート用紙を設置し、お客様からのニーズを把握します。また、管理人や受付案内の職員はお客様の声を聞くように努め、施設の感想を入手するだけでなく、顧客層や動向の把握に務めます。



(2) 利用者等からの苦情等に対する対応について提示してください。

アンケート結果は日々確認をし、苦情や要望があれば、管理人が早急に対応し、内容に応じて事務局へ連絡をし、対応します。予算や工事の問題などですぐに対応できないものについては、代替案や計画を練って、今後の対策を検討します。お客様のお名前をお聞きしている場合には、必要に応じて、個別対応を行います。

(3) その他サービスの質を維持・向上するための取組について提示してください。

他の博物館など同種施設の展示状況、接客状況等の研究を行い、展示やおもてなしに向上に努めます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

5 施設の管理運営等

(1) 施設の管理運営における経費節減のための取組について提示してください。

照明をLED電球に順次交換して、光熱水費を節約します。

消耗品等の購入は、今後必要と思われる数量をまとめ買いすることにより、単価を低く抑えます。

(2) 利用料金の設定及び設定根拠について提示してください。

区分		入館料	利用料金(案)
個人	一般	300円	300円
	児童・生徒	150円	150円
団体(20人以上)	一般	240円	240円
	児童・生徒	120円	120円

(利用料金の設定根拠)

長浜市「長浜鉄道スクエア条例」に基づく料金設定です。

(3) 維持管理業務(清掃・保守点検・警備等)の内容、方法、頻度、今後の修繕計画等について提示してください。

■新型コロナウイルス感染症対応について

- ・ 職員の検温、手指消毒、マスク着用を徹底します。
- ・ 来館者向けには、入口に自動検温器と消毒液を設置します。

■清掃について

- ・ 館内と前庭の清掃を毎日、受付事務員と管理人が行います。
- ・ 営業時間中は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定期的に館内の消毒作業を実施します。

■保守点検について

- ・ 設備に関する保守点検を毎日管理人が行います。不備や故障などが見つかった場合は、事務局へ連絡し、必要な対応を行います。

■警備について

- ・警備保障会社と契約し、年間を通じて警備を行います。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

6 その他

- (1) 利用者の個人情報を保護するための取組を提示してください。

設置するアンケート用紙には個人情報保護に関する明記を行います。また、個人情報が記入された用紙は鍵のかかる棚に保管するなど、取扱いに注意します。これらの業務について、職員への教育を徹底します。

- (2) 施設の管理運営における環境に配慮した取組を提示してください。

照明をLED電球に順次交換し、二酸化炭素の排出を削減します。

- (3) 防災、防犯その他緊急時（災害・事故等）の対応及び危機管理体制について提示してください。

お客様と職員の安全を第一と考え、施設の安全確認を定期的を実施し、日々施設内外の管理点検を行う他、夜間や休館時は警備会社に委託し、緊急時に備えます。災害・事故等発生時の対応として、毎年防災訓練を実施します。避難経路を熟知し、万が一の場合には、スムーズな対応ができるよう指導を徹底します。

開館時

- 担当職員→①警察・消防など関係機関へ連絡
②事務局(専務理事・事務局長)へ連絡→会長及び役員へ連絡
③関係職員へ連絡

閉館時

- 委託先警備会社
→担当職員→①警察・消防など関係機関へ連絡
→②観光協会(専務理事・事務局長)へ連絡→会長及び役員へ連絡
→③関係職員へ連絡

- (4) 同様・類似の業務の実績等があれば、記入してください。

長浜鉄道スクエア

- | | | |
|-----------------|------|--------------|
| 昭和58年4月～平成22年3月 | 27年間 | 長浜市からの業務委託 |
| 平成22年4月～平成25年3月 | 3年間 | 長浜市からの指定管理業務 |
| 平成25年4月～平成30年3月 | 5年間 | 長浜市からの指定管理業務 |
| 平成30年4月～令和5年3月 | 5年間 | 長浜市からの指定管理業務 |

慶雲館

- | | | |
|-----------------|-----|--------------|
| 平成16年4月～平成20年3月 | 4年間 | 長浜市からの業務委託 |
| 平成26年4月～平成29年3月 | 3年間 | 長浜市からの指定管理業務 |
| 平成29年4月～令和4年3月 | 5年間 | 長浜市からの指定管理業務 |
| 令和4年4月～令和9年3月 | 5年間 | 長浜市からの指定管理業務 |

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

7 自由提案

その他施設の管理運営業務を効果的・効率的に推進していくために提案したいこと、貴団体の独自性やアピールしたいことがあれば、記入してください。(例：女性・若者の参画、資材等の地元調達など)

長浜鉄道スクエアが有する近代化遺産の保存、活用に努めます。

旧長浜駅舎2階を活用し、慶雲館と一体的な運用で、MICEの受け入れ施設として、ユニークメニューの展開に心がけます。

鉄道には様々なジャンルの愛好家があります。撮り鉄、音鉄、乗り鉄・・・などと称される愛好家の方々の活動や交流の場として提供することを検討します。鉄道ファンに活用してもらうことで、新しい魅力の創造と発信、新しい利用方法の開発を行い、来館者増につなげます。

旧長浜駅舎は、現存する日本最古の駅舎で、日本の鉄道に関する歴史的文化的に重要な事物として認定される鉄道記念物の第1号に選ばれ、また滋賀県の指定文化財に登録されています。また、旧長浜駅29号分岐器ポイント部や交流用電気機関車ED70形1号機、旧北陸線鉄道トンネル群の石額など、数多くの文化財、鉄道遺産を有しています。長浜市とともにこれらの歴史文化財的価値をより高めるため、国の重要文化財に登録されるよう働きかけを行います。

長浜鉄道スクエアでは、数多くの所蔵品を有しています。加えて、年に数回、元鉄道関係者や愛好家から、鉄道に関する寄贈品を受け入れています。これらの所蔵品を、展示や他の施設への貸し出しなどに利活用できるよう保管整理を行います。

弊会は旅行業を有しているので、長浜鉄道スクエアを含む鉄道遺産巡りのツアーを企画・催行します。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙(A4版)を作成してください。

様式第3号

収支計画書（総括表）

1 収入

(単位：千円)

科目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
指定管理料	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	13,250
利用料金収入	9,071	9,457	9,843	10,229	10,615	49,215
その他の収入	450	450	450	400	400	2,150
小計（指定管理業務）	12,171	12,557	12,943	13,279	13,665	64,615
自主事業収入						
合計	12,171	12,557	12,943	13,279	13,665	64,615

2 支出

科目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
人件費	6,690	6,690	6,690	6,690	6,690	33,450
維持管理費	2,471	2,471	2,471	2,471	2,471	12,355
修繕費	1,000	1,100	1,200	1,300	1,300	5,900
その他の支出	2,010	2,296	2,582	2,818	3,204	12,910
小計（指定管理業務）	12,171	12,557	12,943	13,279	13,665	64,615
自主事業費						
合計	12,171	12,557	12,943	13,279	13,665	64,615

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年度	令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
----	---------------------------

1 収入 （単位：千円）

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	2,650	
利用料金収入	9,071	総入館者数 47,000 人×平均単価 193 円
文化庁補助金	450	学芸員人件費補助
合計	12,171	

2 支出

科目	金額	積算根拠等			
人件費	6,690	名誉館長 ■■■■ 円×12月 ■■■■ 学芸員 ■■■■ 円×12月 ■■■■ 学芸員 ■■■■ 円×12月 ■■■■ 受付事務員 ■■■■ 円×12月 ■■■■ 管理人 ■■■■ 円×12月 ■■■■			
維持管理費	委託料	624	警備保障 210,000 消防設備保守点検 44,000 12条点検 370,000		
	光熱水費	1,324	電気、ガス、上下水道		
	消耗品費	200	清掃備品、電球など		
	賃借料	124	AED 64,000 マット・モップリース 40,000 夜間金庫 20,000		
	通信運搬費	155	電話、郵送代		
	保険料	14	賠償責任保険		
	手数料	30	夜間金庫台帳、振込手数料		
	計	2,471			
修繕費	1,000	鉄道模型メンテ 50,000×12月 600,000 建物・備品修繕 400,000			
その他	博物館運営事業	662	日本鉄道保存協会会費・総会参加費 62,000 日本博物館協会会費 25,000 入館パンフ・リーフレット印刷 500,000 HP作成 50,000 消耗品費 10,000 その他 15,000		
		企画展運営事業	748	展示設営費 300,000 チラシ・リーフレット印刷費 100,000 展示物賃借料 50,000 広告宣伝費 50,000 旅費交通費 50,000 消耗品費 30,000 写真現像費 80,000 諸謝金・交際費 88,000	
			租税公課	600	消費税
			計	2,010	
			合計	12,171	

収支計画書（年度別内訳表）

年度	令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
----	---------------------------

1 収入

（単位：千円）

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	2,650	
利用料金収入	9,457	総入館者数 49,000 人×平均単価 193 円
文化庁補助金	450	学芸員人件費補助
合計	12,557	

2 支出

科目	金額	積算根拠等	
人件費	6,690	名誉館長 ████████ 円×12月 ████████ 学芸員 ████████ 円×12月 ████████ 学芸員 ████████ 円×12月 ████████ 受付事務員 ████████ 円×12月 ████████ 管理人 ████████ 円×12月 ████████	
維持管理費	委託料	624	警備保障 210,000 消防設備保守点検 44,000 12条点検 370,000
	光熱水費	1,324	電気、ガス、上下水道
	消耗品費	200	清掃備品、電球など
	賃借料	124	AED 64,000 マット・モップリース 40,000 夜間金庫 20,000
	通信運搬費	155	電話、郵送代
	保険料	14	賠償責任保険
	手数料	30	夜間金庫台帳、振込手数料
	計	2,471	
修繕費	1,100	鉄道模型メンテ 50,000×12月 600,000 建物・備品修繕 500,000	
その他	博物館運営事業	686	日本鉄道保存協会会費・総会参加費 62,000 日本博物館協会会費 25,000 入館パンフ・リーフレット印刷 500,000 HP作成 50,000 消耗品費 30,000 その他 19,000
	企画展運営事業	1,010	展示設営費 400,000 チラシ・リーフレット印刷費 200,000 展示物賃借料 50,000 広告宣伝費 100,000 旅費交通費 50,000 消耗品費 30,000 写真現像費 80,000 諸謝金・交際費 100,000
	租税公課	600	消費税
	計	2,296	
	合計	12,557	

収支計画書（年度別内訳表）

年度	令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）
----	---------------------------

1 収入 （単位：千円）

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	2,650	
利用料金収入	9,843	総入館者数 51,000 人×平均単価 193 円
文化庁補助金	450	学芸員人件費補助
合計	12,943	

2 支出

科目	金額	積算根拠等			
人件費	6,690	名誉館長 ■■■■ 円×12 月 ■■■■ 学芸員 ■■■■ 円×12 月 ■■■■ 学芸員 ■■■■ 円×12 月 ■■■■ 受付事務員 ■■■■ 円×12 月 ■■■■ 管理人 ■■■■ 円×12 月 ■■■■			
維持管理費	委託料	624	警備保障 210,000 消防設備保守点検 44,000 12 条点検 370,000		
	光熱水費	1,324	電気、ガス、上下水道		
	消耗品費	200	清掃備品、電球など		
	賃借料	124	AED 64,000 マット・モップリース 40,000 夜間金庫 20,000		
	通信運搬費	155	電話、郵送代		
	保険料	14	賠償責任保険		
	手数料	30	夜間金庫台帳、振込手数料		
	計	2,471			
修繕費	1,200	鉄道模型メンテ 50,000×12 月 600,000 建物・備品修繕 600,000			
その他	博物館運営事業	752	日本鉄道保存協会会費・総会参加費 62,000 日本博物館協会会費 25,000 入館パンフ・リーフレット印刷 500,000 HP 作成 80,000 消耗品費 60,000 その他 25,000		
		企画展運営事業	1,230	展示設営費 500,000 チラシ・リーフレット印刷費 250,000 展示物賃借料 50,000 広告宣伝費 100,000 旅費交通費 50,000 消耗品費 50,000 写真現像費 80,000 諸謝金・交際費 150,000	
			租税公課	600	消費税
			計	2,582	
			合計	12,943	

収支計画書（年度別内訳表）

年度	令和8年度（令和8年4月1日～令和9年3月31日）
----	---------------------------

1 収入

（単位：千円）

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	2,650	
利用料金収入	10,229	総入館者数 53,000 人×平均単価 193 円
国・県補助金	400	
合計	13,279	

2 支出

科目	金額	積算根拠等			
人件費	6,690	名誉館長 〇〇〇〇 円×12 月 〇〇〇〇 学芸員 〇〇〇〇 円×12 月 〇〇〇〇 学芸員 〇〇〇〇 円×12 月 〇〇〇〇 受付事務員 〇〇〇〇 円×12 月 〇〇〇〇 管理人 〇〇〇〇 円×12 月 〇〇〇〇			
維持管理費	委託料	624	警備保障 210,000 消防設備保守点検 44,000 12 条点検 370,000		
	光熱水費	1,324	電気、ガス、上下水道		
	消耗品費	200	清掃用品、電球など		
	賃借料	124	AED 64,000 マット・モップリース 40,000 夜間金庫 20,000		
	通信運搬費	155	電話、郵送代		
	保険料	14	賠償責任保険		
	手数料	30	夜間金庫台帳、振込手数料		
	計	2,471			
修繕費	1,300	鉄道模型メンテ 50,000×12 月 600,000 建物・備品修繕 700,000			
その他	博物館運営事業	838	日本鉄道保存協会会費・総会参加費 62,000 日本博物館協会会費 25,000 入館パンフ・リーフレット印刷 500,000 HP 作成 80,000 消耗品費 60,000 インバウンド対応 80,000 その他 31,000		
		企画展運営事業	1,380	展示設営費 600,000 チラシ・リーフレット印刷費 300,000 展示物賃借料 50,000 広告宣伝費 100,000 旅費交通費 50,000 消耗品費 50,000 写真現像費 80,000 諸謝金・交際費 150,000	
			租税公課	600	消費税
			計	2,818	
		合計	13,279		

収支計画書（年度別内訳表）

年度		令和9年度（令和9年4月1日～令和10年3月31日）		
1 収入		(単位：千円)		
科目	金額	積算根拠等		
指定管理料	2,650			
利用料金収入	10,615	総入館者数 55,000 人×平均単価 193 円		
国・県補助金	400			
合計	13,665			
2 支出				
科目	金額	積算根拠等		
人件費	6,690	名誉館長	■■■■ 円×12月 ■■■■	
		学芸員	■■■■ 円×12月 ■■■■	
		学芸員	■■■■ 円×12月 ■■■■	
		受付事務員	■■■■ 円×12月 ■■■■	
		管理人	■■■■ 円×12月 ■■■■	
維持管理費	委託料	624	警備保障 210,000	
			消防設備保守点検 44,000	
			12条点検 370,000	
	光熱水費	1,324	電気、ガス、上下水道	
	消耗品費	200	清掃備品、電球など	
	賃借料	124	AED 64,000	
			マット・モップリース 40,000	
			夜間金庫 20,000	
通信運搬費	155	電話、郵送代		
保険料	14	賠償責任保険		
手数料	30	夜間金庫台帳、振込手数料		
計	2,471			
修繕費	1,300	鉄道模型メンテ 50,000×12月	600,000	
		建物・備品修繕	700,000	
その他	博物館運営事業	904	日本鉄道保存協会会費・総会参加費	62,000
			日本博物館協会会費	25,000
			入館パンフ・リーフレット印刷	500,000
			HP作成	120,000
			消耗品費	60,000
			インバウンド対応	100,000
			その他	37,000
	企画展運営事業	1,700	展示設営費	700,000
			チラシ・リーフレット印刷費	350,000
			展示物賃借料	90,000
		広告宣伝費	150,000	
		旅費交通費	50,000	
		消耗品費	80,000	
		写真現像費	80,000	
		諸謝金・交際費	200,000	
租税公課	600	消費税		
計	3,204			
合計	13,665			